

マルチハビテーションと分権的財政システム*

坂本 直樹†

Multi-Habitation and Decentralized Local Governments

SAKAMOTO Naoki

概要

本論文は、各個人がマルチハビテーションを実行し、マルチハビテーションの対象とする複数の地域の中から労働を供給する地域を1つだけ選択する経済を考え、分権的財政システムの社会的最適性について検討した。その結果、各地域の地方政府が自地域で労働する個人であるか否かによって異なる額の一括税を課し、それを原資として地方公共財を供給するとき、社会的最適が実現することを示した。

* 本研究は2007年度財団法人住友財団の環境研究助成を受けた。ここに付記し、同財団に対して深甚の謝意を表す次第である。なお、本論文における誤りのすべては、筆者に帰することは言うまでもない。

† 東北文化学園大学講師 Lecturer of Tohoku Bunka Gakuen University
e-mail: nsakamo@pm.tbgu.ac.jp